

「新しい発見と感動の連続」

柏市国際交流協会会員
引率者 藤原 雅子

引率という貴重な経験をさせて頂き、温かく迎えてくださいましたカムデンの皆様にご心から感謝しています。この滞在は思いがけない発見と感動の連続でした。

日本では経験できないような素晴らしいプログラムが満載、派遣生たちの笑顔は生き生きとした活気に満ちていました。

第1日目はホストファミリーとの対面です。はじめはぎこちないご挨拶と戸惑いながらの会話でしたが、2日目は全員さわやかな笑顔でキャンプ場に集合しました。冬とはいえ日中は日差しが暖かで、広々としたグラウンドでホストフレンドやC I F Aの方とのフットボールでは汗びっしょり。直径1メートル以上もあるビニールボールのバレーボールはチーム同士が力を合わせなければなりませんので皆が打解けて、言葉以上のコミュニケーションの場となりました。夜はキャンプファイヤで歌ったり踊ったりした後、暖炉の火で暖められたホールでゲームを楽しみました。3日目のロープコースは、地上1メートルぐらいの低いロープから挑戦しますが、ステーション通過ごとに段階的に高くなり、ゴールは2階の屋根よりもっと高くなります。ロープ上からの景色はさぞ壮観だったことでしょう。

キャンプでC I F Aの方々やホストフレンド達とも仲良くなれましたのでその後のプログラムは全て順調に運びました。小学校訪問では、「こんにちは」と日本語で話しかけられ、教室で一緒に折り紙を折ったり習字の授業を見学しました。

今回の引率で1番嬉しかったことは派遣生たちのチームワークの素晴らしさでした。

柏生は、C I F Aの方からも褒めて頂きましたが、到着後わずか数日のうちに英語での受答えを難なく体で吸収してしまい、積極的にカムデンの人たちと交流を深めていました。若いエネルギーの無限の可能性を再発見し、うらやましく感じました。

ウェルカムパーティーでのスピーチも立派にできました。約束をきちんと守り、集合時間に遅れる学生はいませんでした。彼らの責任感の強さと派遣生としての自覚がこの活動をいっそう有意義にしてくれたのだと思います。

1番感動したことはカムデンの方たちの優しさです。いつも穏やかで暖かく親切でした。カムデンの広大な牧場では牛や馬がのどかに草を食べています。すぐ手の届くところにある緑豊かな大地、ゆったりとした時間の流れ、こんな恵まれた環境で暮らすと人間はこれほどやさしく穏やかになれるのでしょうか。

私のホストは造園家のアランさんと、カムデンハイスクール家庭科の先生であるゲイルさんご夫妻です。2人のお子さんは結婚なさり、かわいい孫娘さんが2人います。ゲイルさんの手作り料理はどれも絶品。日本土産の小鉢や平皿にこぎれいに盛り付けられ、花びらやキャンドルで飾られたテーブルセッティングは見事でした。

フリーデーにはシドニーのフィッシュマーケットで新鮮な魚介類を買いました。海岸地方で育ったアランさんは大の魚好き。その日のディナーはアランさんが包丁裁きも鮮やかに刺身をきれいに切り分け、大きな海老とイカのフリッターも作ってくださいました。

カムデンでの毎日は貴重な経験の宝庫です。この活動を支えてくださっている皆様にご心から感謝いたしております。ありがとうございました。



(ホストファミリーのゲイルさんと)